



## てくてくあきる野 むかし発見!

第18話「春の弁天山」  
小峰公園を満喫」

あきる野市には豊かな自然が残されており、四季折々に様々な顔を見せてくれます。今回は、その中でも春に手軽に自然と文化財を楽しんでいただける網代弁天山コースをご紹介します。

まず武蔵増戸駅からスタートします。駅前にある桜は、大正十四年に五日市鉄道が開業された当時、牛沼の一般市民が各駅に自らの手で植えていった吉野桜です。

駅前の道を南へ進むと、五日市街道の山田の交差点に出ます。交差点からさらに南へ進み、山田大橋を右へ。弁天山への案内板を目印に坂を下って行きます。途中の網代橋に立つと、上流、下流の両方向に雄大な景色を眺めることができ、溪谷らしい雰囲気を感じることが出来ます。また、この橋の付近は明治から大正期に、伐採した木を筏に組む土場として盛んに使用されていた場所です。橋を渡ると、急な登り坂になってきます。そのまま道なりに進んで行くと、所々に弁天山への案内看板があるので、これに従って進みます。しばらくすると、貴志嶋神社の真つ赤な鳥居が目に入ります。弁天山の登山口で

す。さっそく登ってみましょう。この山は初心者でも歩けるコースです。所々狭い道や急な道もありますが、30分程度で頂上に登ることが出来ます。春にはツツジやヤマザクラが色鮮やかに咲き誇ります。自然を満喫しながらゆつくり登ってください。山頂に着いたら一度休憩し、頂上からの景色を是非ゆつくり楽しんでみてください。



網代弁天山入口

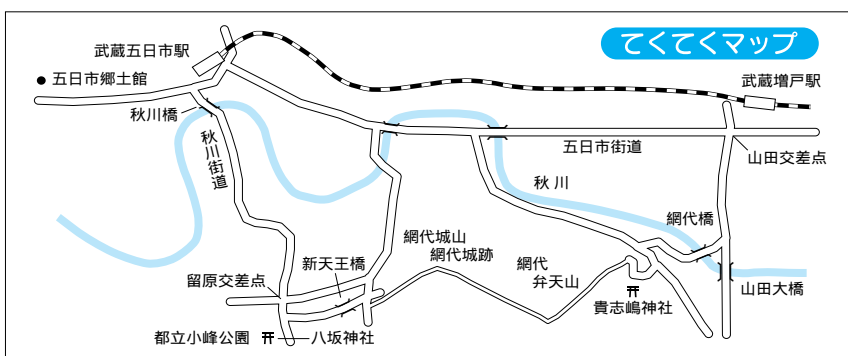
山頂を満喫した後は、弁天山を離れ、網代城山方面に進みます。少し下ると、また登り坂になってきます。しばらく登って行くと、網代城跡に到着します。ここは、中世の山城と考えられていて、地元の侍が周辺地域を監視・自衛していました。この先は2つのコースに分かれますが、小峰公園方面に下って行きます。道なりに進んでいくと、新天王橋付近の道に出ます。約一時間の登山はここで終了です。次に小峰公園方面に進みましょう。



小峰公園の桜尾根

新天王橋を渡り、道なりに進み左手に曲がると、小峰公園があります。公園内の桜尾根という場所では、春には数百本のソメイヨシノやヤマザクラが咲き誇ります。また、近くには八坂神社、尾根道の入口には庚申塔などがあり、地域の歴史が感じられます。この尾根道は昔、五日市から八王子へ向かう往還道として使用されていました。公園の広い敷地内では、この他にもたくさんの植物を楽しむことができます。豊かな自然を十分に満喫したら、公園を出て、秋川街道を北に。途中に秋川橋があります。この橋の数メートル下流からは約1500万年前のカバのような姿の哺乳動物、「パレオパラドキシア」が発見されました。五日市郷土館では現在、レプリカを展示しています。武蔵五日市駅に到着したら、今回の散策は終了です。

いかがでしたでしょうか。全体でおよそ二時間程度の行程です。山登りといっても、急な道は少なく、またコースも短めなので、手軽に自然を楽しむことができます。今回紹介した場所



他にも、あきる野市には文化財や自然を楽しめる場所がたくさんあります。市外の観光地に出かけるのもいいですが、その前に身近な場所で文化財巡りや自然の雄大さを感じてみるのはいかがでしょうか。また普段歩いている道でも注意深く歩いて

みると、必ず色々な新たな発見があるものです。ふるさとの歴史や文化に触れながら、春のひと時をゆつくりと自然に囲まれながら過ごしてみてください。

「てくてくあきる野むかし発見!」は今回の号をもちまして終了させていただきます。

### 放課後子ども教室

#### 『あそび応援団』

募集中!

子どもたちの遊び相手となつて関わっていただける『あそび応援団』(ボランティア)を募っています。子どもたちに昔あそびや読み聞かせ、編物、工作など教えてくださる方、子どものあそびを見守ってください。方、ぜひ登録ください。

放課後子ども教室とは、小学校1年生から6年生までの全児童を対象に、学校の施設等を利用し、地域の方々の協力をいただきながら、子どもたちの自主的な活動を通して、豊かな放課後の環境づくりと子どもたちの安全で安心できる活動場所を提供するものです。

- 場所 東秋留小学校、草花小学校
- 学校 多西小学校
- 開設日時 原則毎週水曜日の放課後(午後5時まで)
- 連絡先 教育部生涯学習推進課生涯学習係へ